

南九州大学 環境園芸学部環境園芸学科 令和8年度入学試験「出題の意図」

試験区分	出題意図
総合型Ⅰ期	地球環境問題を自分自身の課題として捉え、「園芸」「造園」「自然環境」の3分野と関連付けながら、持続可能な社会の実現に向けた具体的な考えを論理的に表現する力を問う。また、これまでの経験を踏まえ、将来どのように社会に貢献したいかという目的意識や主体性も評価する。
総合型Ⅱ期	環境問題の現状と人間活動による環境負荷について理解し、持続可能な循環型社会の実現に向けて、「園芸」「造園」「自然環境」の3分野から課題を捉え、具体的な解決策を自ら考え、論理的に表現する力を問う。
総合型Ⅲ期	都市化による自然との距離の拡大と、都市・農村における緑地の多面的な役割について理解し、人と緑が共生する社会の実現に向けて、「園芸」「造園」「自然環境」の視点から具体的な取り組みを考え、論理的に表現する力を問う。
総合型Ⅳ期	持続可能な社会の実現に向けて、環境教育の重要性を理解し、「園芸」「造園」「自然環境」の3分野から、子どもや若者の環境意識を高める具体的な方法を考える力を問う。また、自らの経験や考えをもとに、主体的に社会に貢献しようとする意欲も評価する。
総合型Ⅴ期	身近な環境問題から自ら課題を発見し、「園芸」「造園」「自然環境」の3分野と関連付けて、具体的な解決策を考える力を問う。また、自身の経験や考えを踏まえ、将来どのように社会に貢献したいかという主体性や目的意識も評価する。
学校推薦型Ⅰ期	カーボンニュートラルの実現に向けた自然環境の活用の重要性を理解し、「園芸」「造園」「自然環境」の3分野から具体的な貢献方法を考える力を問う。環境問題を自分自身の課題として捉え、根拠をもって論理的に考え、表現する力を評価する。
学校推薦型Ⅱ期	都市化による自然との距離の拡大と、都市・農村における緑地の多面的な役割について理解し、人と緑が共生する社会の実現に向けて、「園芸」「造園」「自然環境」の視点から具体的な取り組みを考え、論理的に表現する力を問う。
社会人Ⅰ期	カーボンニュートラルの実現に向けた自然環境の活用の重要性を理解し、「園芸」「造園」「自然環境」の3分野から具体的な貢献方法を考える力を問う。環境問題を自分自身の課題として捉え、根拠をもって論理的に考え、表現する力を評価する。
社会人Ⅱ期	実施せず
帰国生徒Ⅰ・Ⅱ期	実施せず
編入	カーボンニュートラルの実現に向けた自然環境の活用の重要性を理解し、「園芸」「造園」「自然環境」の3分野から具体的な貢献方法を考える力を問う。環境問題を自分自身の課題として捉え、根拠をもって論理的に考え、表現する力を評価する。